

報道関係者各位

一般財団法人 雇用開発センター

## 2018 年卒 大学生就職活動調査（第二回）の結果速報

◎2018 年 3 月現在、内定率は 93.1%。

◎内定辞退経験率は 56.7%で、前年から 5.9 ポイント増加。

◎56%の学生がインターンシップを経験し、前年から 13.4 ポイントの大幅増。

雇用職業情報を提供する、一般財団法人雇用開発センター（代表理事：井上英紀）は、「2018 年卒大学生の就職活動調査」をイプソス株式会社への委託により実施いたしました。

この度、調査結果の速報がまとまりましたので、一部抜粋をお知らせ致します。

### 【調査概要】

◆調査対象 2018 年 3 月卒業見込みで、就職活動中、または就職活動を終えた学生、  
全国の大学 4 年生及び大学院 2 年生 男女

◆調査期間 2018 年 3 月 14 日～3 月 23 日

◆調査方法 Web アンケート

◆有効回答 550 名（大学 4 年生：428 名／大学院 2 年生：122 名）

※文中に記載されている昨年同月調査（2017 年 3 月調査）とは、今年度と同様の調査で、2017 年 3 月 15 日～23 日に実施され、551 名の回答を得た。

### 【結果概要】

- ・ 3 月時点の内定率は 93.1%。男女別では男性 88.1%、女性 97.9%で前年に続き女性が男性を上回っている。
- ・「内定の辞退をしたことがある」学生は 56.7%に上り、前年から 5.9 ポイント増えている。
- ・インターンシップについて、参加経験率は前年より 13.4 ポイント多い 56.0%。参加期間は 1 日の「ワンデーインターンシップ」が 63.0%で最も多く、前年からも 3 ポイント伸ばしている。  
内容は、「仕事体験」が前年から 6.6 ポイント減の 50.0%となっている。  
昨年の政府と私大連による「ワンデーインターンシップ見直し」提言を受け、今後の動向が注目される。
- ・UI ターン就職について、前年から 8.2 ポイント増の 22.2%の学生が「活動を行った」と回答。
- ・スマホとパソコンの活用度合いは、「スマホが殆どでパソコンは時々」が 26.5%と前年から 7.8 ポイント増、逆に「パソコンが殆どでスマホを時々」が前年から 5.2 ポイント減の 20.0%となっている。
- ・仕事観は、「仕事とプライベートの両立」が前年から 8.8 ポイント増の 66.2%で最も多くなっており、政府の働き方改革の影響がうかがえる。

### 【お問合せ】

本調査に関するお問合せは下記までお願いします。

一般財団法人 雇用開発センター 相澤・石塚

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 3 丁目 23 番 11 号 プライム浜町ビル 4 階 TEL : 03-5643-8220

e-mail : [aizawa@earc.or.jp](mailto:aizawa@earc.or.jp) URL : <https://www.earc.or.jp>

## 1. 内定状況

### (1) 内定率

- ・調査時点での内定率は、全体で 93.1%であった。
- ・男女別では、男性 88.1%、女性 97.9%で女性が男性を上回っている。

表. 内定の状況 (%)

	n	内定を受けた	まだ、内定を受けていない
全 体	550	93.1	6.9
男性	268	88.1	11.9
女性	282	97.9	2.1
大学4年生	428	92.8	7.2
大学院2年生	122	94.3	5.7
男性×大学4年生	189	86.2	13.8
男性×大学院2年生	79	92.4	7.6
女性×大学4年生	239	97.9	2.1
女性×大学院2年生	43	97.7	2.3
文系	334	94.6	5.4
理系	211	90.5	9.5
文系×大学4年生	313	94.9	5.1
文系×大学院2年生	21	90.5	9.5
理系×大学4年生	110	86.4	13.6
理系×大学院2年生	101	95.0	5.0
※参考 2017年3月	551	91.5	8.5

### (2) 内定の辞退

- ・内定を辞退したことがある学生は、全体の 56.7%で半数以上に上り、特に文系の大学4年生では 62.9%と高い割合となっている。

表. 内定の辞退 (%)

	n	内定の辞退をしたことがある	内定の辞退をしたことがない
全 体	550	56.7	43.3
男性	268	56.7	43.3
女性	282	56.7	43.3
大学4年生	428	59.1	40.9
大学院2年生	122	48.4	51.6
男性×大学4年生	189	59.8	40.2
男性×大学院2年生	79	49.4	50.6
女性×大学4年生	239	58.6	41.4
女性×大学院2年生	43	46.5	53.5
文系	334	61.1	38.9
理系	211	50.2	49.8
文系×大学4年生	313	62.9	37.1
文系×大学院2年生	21	33.3	66.7
理系×大学4年生	110	49.1	50.9
理系×大学院2年生	101	51.5	48.5

## 2. インターンシップ

- ・前年同月調査を13.4ポイント上回る56.0%の学生が「インターンシップに参加した」と回答。

表. 就職活動内容

	n	インターンシップ	就職情報サイト(ナビ)への登録	企業へのエントリー	合同企業説明会への参加(就職情報会社主催等)	単独の会社説明会への参加	学内の合同企業説明会への参加	会社訪問	OB・OG訪問	有料の就職塾・就職ゼミ	その他	上記のような就職活動はしていない
全体	550	<b>56.0</b>	61.8	70.4	51.8	62.0	47.1	17.8	12.4	2.5	1.1	12.7
男性	268	56.3	55.6	67.9	45.5	57.8	43.3	18.3	13.1	2.6	0.4	14.2
女性	282	55.7	67.7	72.7	57.8	66.0	50.7	17.4	11.7	2.5	1.8	11.3
大学4年生	428	56.8	62.4	71.0	55.6	62.9	46.7	17.8	10.5	2.3	0.7	12.4
大学院2年生	122	53.3	59.8	68.0	38.5	59.0	48.4	18.0	18.9	3.3	2.5	13.9
文系	334	58.4	62.9	73.7	58.1	65.3	46.7	17.7	13.5	3.0	0.9	13.2
理系	211	51.7	59.2	64.9	40.8	56.4	46.9	18.0	10.9	1.9	0.9	12.3
※参考 2017年3月	551	<b>42.6</b>	51.9	65.2	48.1	59.9	46.1	12.9	10.9	*	0.9	17.4

- ・インターンシップの参加期間としては、「1日」が63.0%で最も多く、企業側のワンデーインターンシップ導入傾向が続いた結果となっている。

表. インターンシップの参加期間

	n	1日	2日	3日以上1週間未満	1週間以上2週間未満	2週間以上1か月未満	1か月以上3か月未満	3か月以上
全体	308	<b>63.0</b>	17.5	29.5	13.0	7.1	1.6	2.3
男性	151	57.6	18.5	37.1	16.6	6.0	1.3	2.6
女性	157	68.2	16.6	22.3	9.6	8.3	1.9	1.9
大学4年生	243	64.6	18.1	28.8	13.2	5.3	1.6	2.5
大学院2年生	65	56.9	15.4	32.3	12.3	13.8	1.5	1.5
文系	195	64.1	19.5	31.3	12.8	5.1	1.5	3.1
理系	109	61.5	13.8	26.6	13.8	11.0	1.8	0.9
※参考 2017年3月	235	<b>60.0</b>	18.3	35.3	20.9	5.1	5.5	3.0

- ・インターンシップの内容では、「実際の仕事体験」が前年から6.6ポイント減の50.0%となっている。
- ・就業体験を伴わないワンデーインターンシップの見直しを提言した昨年6月の政府発表や、現状のワンデーインターンシップを本来のインターンシップとは分離すべきと提言した昨年11月の私大連の発表を受け、今後の動向が注目される。

表. インターンシップの内容

	n	会社見学、職場見学、工場見学	実際の仕事体験	社長、人事、社員の講義・セミナー	グループワーク	社員との交流会、懇親会	その他
全体	308	59.1	<b>50.0</b>	35.1	60.4	42.9	-
男性	151	62.3	51.7	33.8	57.6	39.7	-
女性	157	56.1	48.4	36.3	63.1	45.9	-
大学4年生	243	56.8	46.9	36.2	62.6	41.6	-
大学院2年生	65	67.7	61.5	30.8	52.3	47.7	-
文系	195	58.5	47.7	40.5	70.3	46.2	-
理系	109	62.4	56.0	26.6	41.3	37.6	-
※参考 2017年3月	235	59.6	<b>56.6</b>	43.0	60.9	45.5	1.3

- ・また、インターンシップ情報の入手ルートでは、「キャリアセンター、就職課」からが49.4%と前年から11.1ポイント増と大きく増えており、大学側のインターンシップへの積極的な取組みがうかがえる。

表. インターンシップ情報の入手ルート

	n	学校のキャリアセンター、または就職課	インターンシップ情報サイト	企業のホームページ	友人、先輩から	新卒応援ハローワーク	その他
全体	308	<b>49.4</b>	54.9	42.2	9.1	1.0	2.3
男性	151	51.0	53.0	42.4	9.9	1.3	2.0
女性	157	47.8	56.7	42.0	8.3	0.6	2.5
大学4年生	243	51.0	54.7	41.2	7.8	0.8	2.5
大学院2年生	65	43.1	55.4	46.2	13.8	1.5	1.5
文系	195	50.3	57.4	41.0	9.2	1.0	1.5
理系	109	48.6	50.5	44.0	9.2	0.9	3.7
※参考 2017年3月	235	<b>38.3</b>	58.7	36.6	11.1	1.7	5.5

### 3. UIターン就職活動の有無

- 前年から 8.2 ポイント増の 22.2%の学生が UI ターン「就活を行った」と答えており、5 人に一人の割合となっている。

政府の地方創生への取組みによる、各府省庁・地方自治体の様々な移住支援施策が浸透しつつあることがうかがえる。

表. UIターン就職活動の有無 (%)

	n	UIターン就職活動を行った、行っている	UIターン就職活動は行っていない
全 体	550	22.2	77.8
男性	268	25.7	74.3
女性	282	18.8	81.2
大学4年生	428	24.1	75.9
大学院2年生	122	15.6	84.4
文系	334	21.9	78.1
理系	211	22.3	77.7
※参考 2017年3月	551	14.0	86.0

### 4. スマホとパソコンの活用

- 就職活動でのスマホとパソコンの活用割合は、「スマホが殆どでパソコンは時々」が 26.5%と前年から 7.8 ポイント伸ばし、逆に「パソコンが殆どでスマホを時々」が前年から 5.2 ポイント減の 20.0%となっている。
- 「スマホが殆どでパソコンは時々」と「スマホだけで活動」の 9.3%を合わせた 35.8%は、「パソコンが殆どでスマホを時々」と「パソコンだけで活動」(4.2%)の合計の 24.2%を、調査開始以降初めて上回った。学生のスマホ依存の傾向が明確となっている。

表. 就職活動でのスマホとパソコンの活用 (%)

	n	パソコンは使わずスマホだけで活動した	スマホが殆どでパソコンは時々使った	スマホとパソコンを半々で使いつけた	パソコンが殆どでスマホを時々使った	スマホは使わずパソコンだけで活動した	スマホもパソコンも使わなかった
全 体	550	9.3	26.5	38.5	20.0	4.2	1.5
男性	268	9.0	20.5	39.6	23.5	6.0	1.5
女性	282	9.6	32.3	37.6	16.7	2.5	1.4
大学4年生	428	11.0	31.8	39.5	14.0	2.6	1.2
大学院2年生	122	3.3	8.2	35.2	41.0	9.8	2.5
文系	334	9.0	34.1	41.6	11.7	2.1	1.5
理系	211	10.0	14.7	33.2	33.2	7.6	1.4
※参考 2017年3月	551	7.3	18.7	38.8	25.2	5.3	4.7

### 5. 就活スケジュール、学業との両立

- 前年 (45.7%) とほぼ同様の 46.0%の学生が、就活期間は「ちょうど良かった」と回答し、最も多くなっている。

表. 就活スケジュールについて (%)

	n	就活期間がちょうど良かった	就活期間が短かったと思う	就活期間が長かったと思う	わからない
全 体	550	46.0	20.2	12.0	21.8
男性	268	45.9	21.3	12.3	20.5
女性	282	46.1	19.1	11.7	23.0
大学4年生	428	46.5	21.7	10.7	21.0
大学院2年生	122	44.3	14.8	16.4	24.6
文系	334	47.6	21.3	10.8	20.4
理系	211	43.6	18.0	14.2	24.2
※参考 2017年3月	551	45.7	18.7	8.0	27.6

- ・学業との両立についても「両立できたので就活期間はちょうど良かった」が 46.9%で最も多く、昨年の 47.4%とほぼ同様の数字となっている。
- ・就活期間、学業との両立、ともに多くの学生が肯定的に捉えていることがうかがえる。

表. 学業との両立 (%)

	n	学業と就活が両立できたので、就活期間はちょうど良かったと思う	就活期間が短く、学業と就活が両立できなかった	就活期間が長く、学業と就活が両立できなかった	わからない
全 体	550	46.9	14.9	15.8	22.4
男性	268	43.3	16.0	15.7	25.0
女性	282	50.4	13.8	16.0	19.9
大学4年生	428	47.4	16.4	14.5	21.7
大学院2年生	122	45.1	9.8	20.5	24.6
文系	334	49.1	17.4	12.9	20.7
理系	211	43.6	10.9	20.4	25.1
※参考 2017年3月	551	47.4	13.8	12.0	26.9

## 6. 就職活動の満足度

- ・「満足」(30.5%)と「やや満足」(46.7%)を合わせると 77.2%で、前年同月調査の合計 76.2%と同様高い数字となっており、売り手市場を受けて、学生の希望が通りやすい状況となっていることがうかがえる。

表. 就活の満足度 (%)

	n	満足	やや満足	やや不満	不満
全 体	550	30.5	46.7	14.9	7.8
男性	268	32.1	42.9	13.4	11.6
女性	282	29.1	50.4	16.3	4.3
大学4年生	428	29.0	46.7	16.6	7.7
大学院2年生	122	36.1	46.7	9.0	8.2
文系	334	29.0	47.6	15.3	8.1
理系	211	33.2	45.5	14.2	7.1
※参考 2017年3月	551	29.9	46.3	15.2	8.5

## 7. 就職活動の感想

- ・「想定通り楽だった」(10.9%)と「想定より楽だった」(34.2%)を合わせると 45.1%で、前年同月調査の 50.5%からは減少している。
- ・一方「想定通り厳しかった」(36.0%)と「想定より厳しかった」(17.3%)の合計は 53.3%で、前年を 4.9ポイント上回っており、前質問の満足度の高さと比べると、結果に満足しながらも活動は「厳しい」と感じていた学生も多かったことが推察される。

表. 就職活動の感想 (%)

	n	想定通り、楽だった	想定より、楽だった	想定通り、厳しかった	想定より、厳しかった	その他
全 体	550	10.9	34.2	36.0	17.3	1.6
男性	268	11.6	34.0	36.2	17.2	1.1
女性	282	10.3	34.4	35.8	17.4	2.1
大学4年生	428	8.6	33.4	38.8	17.5	1.6
大学院2年生	122	18.9	36.9	26.2	16.4	1.6
文系	334	7.2	31.1	41.9	18.9	0.9
理系	211	17.1	39.3	26.5	14.2	2.8
※参考 2017年3月	551	11.3	39.2	27.9	20.5	1.1

## 8. 仕事観

- 仕事観に対する回答では、「仕事とプライベートを両立させたい」が前年から 8.8 ポイント増の 66.2%で最も多くなっている。

政府の働き方改革施策が影響しているかと推察される。

表. 仕事観

		(%)								
	n	楽しく仕事をしたい	仕事とプライベートを両立させたい	収入があれば良い	社会に貢献できる仕事をしたい	出世したい	人の役に立つ仕事をしたい	自分のやりたいことを、仕事を通じて実現したい	将来的には起業したい	その他
全 体	550	54.7	<b>66.2</b>	29.5	22.4	12.2	30.2	24.5	2.9	-
男性	268	55.2	61.2	34.0	22.0	17.9	23.9	21.3	3.7	-
女性	282	54.3	70.9	25.2	22.7	6.7	36.2	27.7	2.1	-
大学4年生	428	58.2	68.9	29.4	20.1	11.9	30.1	22.4	3.0	-
大学院2年生	122	42.6	56.6	29.5	30.3	13.1	30.3	32.0	2.5	-
文系	334	57.8	68.0	28.7	21.9	11.7	28.4	23.7	3.0	-
理系	211	49.8	63.0	30.8	22.7	12.8	32.7	26.1	2.8	-
※参考 2017年3月	551	58.3	<b>57.4</b>	26.3	24.1	12.0	29.4	26.3	4.9	0.4

### 【本調査結果の詳細】

- 本調査結果の全体については一般財団法人雇用開発センターホームページ (<https://www.earc.or.jp>) をご参照下さい。